

新潟県障害者リハビリテーションセンター 令和6年度事業報告書

1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区 分 \ 職 名	施設長	医 師	サービス管理責任者	直接処遇職員								事務員	合 計
				生活支援員	職業指導員	就労支援員	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	看護師	管理栄養士		
基準定数①	1	1	1	常勤換算方法で4.7以上								1	
正規職員の配置②	1		2	4		1	1		1			1	10※
正規職員以外のものの配置③		[1]		9				1	1	1		1	12 [1]
現 員 計 ②+③=④	1	[1]	2	13		1	1	1	2	1		2	22 [1]

注) 嘱託医は〔 〕内で記入、施設長はサービス管理責任者を兼務

2 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男性	女性	計
入所者数	11	1	12
退所者数	16	3	19
在籍利用者数 (施設入所)	28 (11)	4 (1)	32 (12)

◎年間延べ利用者数 ()は前年度

施設入所	機能訓練	就労移行	生活介護	短期入所	合計
3,854 (4,365)	4,411 (4,598)	871 (911)	1,033 (1,043)	22 (36)	10,191 (10,953)

3 生活介護又は施設入所支援の実施状況

(当該年度実績)

生活介護

個別支援計画を基に支援を行っている。

来所持にバイタルチェックを行い利用者の体調管理を行っている。また、日中活動は手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング、グループワーク等をとおして趣味の拡大、社会生活能力の向上に向けて支援している。

必要に応じて医学的リハビリ（PT・OT・ST）に取り組んでいただき自立支援を行っている。

施設入所支援

個別支援計画を基に支援を行っている。

高次脳機能障害や身体機能面で自立できない利用者に対して、介助や支援をとおして自立支援を行っている。

また、服薬管理、生活習慣や食生活等の健康管理を看護師、管理栄養士の指導のもと支援している。

4 自立訓練又は就労移行支援の実施状況

(当該年度実績)

個別支援計画に基づいて、PT・OT・STと連携を取りながら機能向上に向けた支援を提供している。主なサービス内容は、手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニングである。目的は、身体機能の向上、高次脳機能障害の改善、資格取得、基礎学力向上、趣味の拡大等である。

また、社会生活力の向上を目的に外出訓練、調理実習、グループワーク等に取り組んでいただき機能向上とともに社会生活能力の向上に向け支援している。

自動車運転再開のニーズも多く、医師、自動車学校と連携して支援を行っている。

就労移行支援

個別支援計画に基づき、一般就労や復職を目的とした支援を行っている。具体的には、パソコンの資格取得などの職業スキル向上、履歴書・職業経歴書の作成指導、採用面接に向けた準備支援を実施している。また、「OAWork」という訓練用ソフトを活用し、実務に近い事務作業の訓練も提供している。就労アセスメントを通じて本人の強みを把握し、就労の可能性を高める支援を心がけている。

さらに、復職先や実習先と利用者間の連絡調整を行いながら、利用者へのアドバイスや企業側への必要な配慮の提案などの支援も行っている。近年は在宅就労に向けた支援ニーズが増加しており、オンライン面談のための環境設定なども積極的に実施している。

5 令和6年度の概況

職員体制について

令和6年度は生活支援員の常勤職員が1名加わり、適正な職員配置と役割分担を確実に行うことで、利用者支援の質の向上を図ることができた。一方で退職者は、事務員1名とサービス管理責任者1名の計2名であった。事務員については契約満了による退職であったが、サービス管理責任者の退職は施設運営にとって大きな痛手となった。しかし、内部においてサービス管理責任者を育成できていたため、次年度への影響を最小限に抑えることができた。

新規利用者の確保について

新規利用者数の増加が思うように進まなかった年度となった。回復期病棟を有する病院や居宅介護支援事業所への広報活動を定期的かつ継続的に実施しているものの、十分な成果に結びついていない状況である。今後は広報活動の継続に加え、広報内容の見直しや周知対象施設の拡大といった対応が必要であることが明らかになった。

利用者支援の成果について

既存利用者への支援については、支援の質が向上した結果、以下のような成果を上げることができた。

- 一般就労・復職者：8名（前年度5名）
- 福祉的就労：5名（前年度4名）
- 就労以外での地域移行：6名（前年度16名）

前年度と比較して、何らかの就労につなげることができたケースが増加した。この成果は次年度の加算（就労移行支援体制加算等）に反映され、施設運営に良好な影響を与えることとなった。

専門的支援体制の充実について

当施設は高次脳機能障害者の利用が多いが、職員が専門研修を受講し、高次脳機能障害支援体制加算の算定要件を満たすことができた。この点も施設運営にプラスの影響を与えている。

総括

新規利用者数は伸び悩んだものの、既存利用者を何らかの就労につなげることができ、外部から高い評価を受ける施設運営を実現できた。これは、労働力不足が懸念される中、職員一人ひとりの力を最大限に引き出せるよう、心理的安全性の醸成を意識した職場環境づくりを継続してきた結果であると考えている。

6 健康管理・衛生管理の状況

(1) 利用者の健康診断の状況

（当該年度 3月31日現在）

期 日	受診済人数	検 査 内 容	実 施 状 況
R6年7月2日 7月5日 7月22日 7月24日	11人 ＊利用者個々の状況は把握	身長・体重・BMI・ 握力・血圧・検尿・ 胸部X線・診察	新潟県障害者 リハビリテーションセンター 嘱託医

R7 年 2 月 4 日 2 月 5 日 2 月 18 日	10 人 *利用者個々の状況は把握	身長・体重・BMI・ 握力・血圧・検尿・ 胸部 X 線・診察	新潟県障害者 リハビリテーションセンター 嘱託医
-------------------------------------	----------------------	---	--------------------------------

(2) 職員の健康診断の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

期日	受診済人数	検査内容	実施状況
R6 年 5 月 6 月 7 月	1 人	問診・身長・体重・視力・聴力・血圧・検尿・血液一般・腹囲測定・心電図・胸部 X 線	新潟県障害者 リハビリテーションセンター ゆきよしクリニック
	5 人	問診・身長・体重・視力・聴力・血圧・胸部 X 線	
R6 年 8 月 9 月 10 月	11 人	問診・診察等・身長計測・血圧・尿検査・便潜血反応検査・血液検査・心電図・胃部 X 線・胸部 X 線	外部検診 (新潟ウェルネス)

*他院で実施 4 名（育休中 1 名、退職予定者 1 名）除く

7 地域生活移行計画の実施状況

(当該年度実績)

各々の利用者の個別支援計画に基づいて、市町村及び相談機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定一般相談支援事業所等と連携して行っている。

8 サービス向上計画の実施状況

(1) 自己評価・第三者評価の実施状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

第三者評価			
実施の有無	評価実施機関	実施時期	実施内容
有	公益社団法人 新潟県介護福祉士会	令和 5 年度	書面調査、利用者調査、 訪問調査

(2) 意見箱、利用者アンケート等の実施状況

(当該年度実績)

- ・苦情・要望等の受付 苦情：8 件 要望等：1 件
(その都度、職員会議等で検討・対応を行っている)。
- ・利用者満足度調査 3 月上旬に実施
- ・食事アンケート調査 3 月上旬に実施

(3) オプションサービスの実施状況

(当該年度実績)

- 「その他の日常生活費」より、以下のサービス内容の実績があり。
- ・私用のコピー、FAX の使用
 - ・医療機関等への付添い送迎

(4) その他サービス向上のための取組

(当該年度実績)

自立訓練（機能訓練）および就労移行支援の利用者を対象に、月曜日から金曜日まで祝日も含めて訓練を実施し、利用者の活動量の維持に努めた。これにより、年間で13日間多く訓練機会を提供することができた。

9 利用者拡大計画の実施状況

(1) 広報・普及活動

(当該年度実績)

- ・見学者及び問い合わせ者へパンフレットを配布する
- ・新潟市の区役所へ事業所の機能・役割を示した資料を配布（5月）
- ・オフラインの見学説明会の実施（R6年6月26日）
- ・医療機関での施設説明会の実施（下越病院、みどり病院、悠遊健康村病院）
- ・居宅介護支援事業所向けに Zoom での施設説明会・利用相談会実施（R6年12月26日、R7年1月16日）
- ・居宅介護支援事業所向けに事業所案内 FAX を送る（約300事業所、11月、3月）
- ・新潟県内の回復期病棟を持つ病院（20病院）に DM を送る（11月、3月）
- ・SNS（Instagram）の活用

(2) その他利用者拡大のための取組

(当該年度実績)

- ・医療機関、行政機関、相談支援事業所等の職員、障害当事者（家族）を対象とした施設の見学・相談を随時実施する

10 権利擁護計画の実施状況

(1) 苦情解決の仕組みへの取組み内容

(当該年度 3月31日現在)

	設置の有無	誰をあてているか（職・氏名）
苦情受付担当者	㊦ ・ 無	看護師 佐久間 朋子
苦情解決責任者	㊦ ・ 無	所長 西片 寿仁

第三者委員	㊥ ・ 無	笠井 友治郎（元大学教員・元身体障害者 更生相談所長） 渡辺 啓子（亀田小学校区コミュニティ協議 会副会長）
苦情解決のための要領、マニュアル等の作成の有無		㊥ ・ 無

(2) 苦情解決の仕組みの周知方法

(当該年度 3月31日現在)

利用者・家族等への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	㊥ ・ 無	有 ・ ㊥	㊥ ・ 無	
受付けた苦情内容及び解決結果の公表方法	事業報告書への掲載	会報等への掲載	その他	
	㊥ ・ 無	有 ・ ㊥	居住棟に掲示・利用者朝会で報告	

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度実績)

・事業所としてどのような体制（例：責任者の設置等）を整備しているか。 苦情受付の担当者を定め、虐待又はその疑いがある場合は、口頭や苦情受付箱への投書が出来る様に体制を整えている。 ・事業所としてどのような取り組み（例：研修の実施、掲示等）を行っているか。 利用者朝会・職員朝会・各種会議において、人権擁護等についての話題を取り上げ、職員と利用者が共に考え対応できるように、常に注意喚起を促している。入浴時に、注意し身体虐待の痕跡等観察を行っている。利用者間の人間関係に留意し、早めの対応が出来る様に努めている。オンラインにて、虐待防止に関する研修を全職員受講している。職員に虐待に対するアンケートを実施している。

(4) 身体拘束の有無

(当該年度実績)

身体拘束の方法	件数	身体拘束の必要な理由	記録の有無	家族等の確認の有無
無し				

1 1 家族・地域・関係機関等との連絡体制計画の実施状況

(当該年度実績)

個別支援計画策定後、サービス担当者会議を開催し必要に応じて、本人、家族、市町村障害福祉課、指定特定相談支援事業所、担当ケアマネージャーを含め支援計画の周知を行っている。
--

1 2 環境への配慮

(当該年度実績)

ゴミの分別に努め、資源ごみのリサイクル活用に貢献する。カラーコピーの使用を最小限にし、必要枚数以上の印刷はしないように努める。裏紙の再利用を積極的に行う。暖房の設定温度(暖房 20 度・冷房 26 度)を守る。9 時と 13 時に居室の照明、エアコンの切り忘れがないか巡回を行う。順次、照明を LED に切り替えている。職員間の情報共有はオンラインで行いペーパーレスに努めている。

1 3 災害事故防止対策の状況

(1) 防火管理者の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

防火管理者職・氏名	交流センター 所長 佐々木 篤志	防火管理者講習会受講	H10 年 11 月 6 日 受講
防火管理者選任年月日	R6 年 4 月 1 日 選任	消防署への届出	R6 年 7 月 4 日 選任

(2) 消防計画の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防計画作成年月日	18 年 4 月 1 日 作成	消防署への届出	18 年 4 月 1 日 届出
職員への周知状況	「防災計画」「事故対応・防災計画書」の個人配布		
地震、台風等災害計画	「防災計画」の中に記載		

(3) 防災体制の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

近隣施設・地域住民との協力体制	最終避難所として 向陽の里・あさひ園・亀田公園
夜間勤務職員の役割の明示	新潟ふれあいプラザ災害時の職員初動の体制に記載

(4) 消防署の立入検査の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防署の立入検査の実施 (直近のもの)	年 月 日 実施	所轄消防署名	
改善指示の内容	※ふれ愛プラザの報告に順ずる	左に 対す る改 善状 況	消防署に対する 改善報告年月日 年 月 日

(5) 消防・防災訓練の状況 ※ふれ愛プラザ全体の訓練 (5月・11月)

(当該年度実績)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消防訓練 (該当箇所) ○印	実施日	15日	14日	28日	22日	30日	17日	28日	19日	16日	29日	17日	24日	12
	実施内容	避難	○		○		○	○	○				○	6
		救助												
		通報	○						○					2
		消火	○						○					2
	消防署への事前通知													
	消防署の立会い													
	近隣施設、地域住民の参加													
	その他の防災訓練 (地震、水害、伝達訓練)		夜		○	○	夜		○		○			6
	消防器具・避難経路等の自主点検									○		○		2
消防署による 検証指導の実施		(実施済のときは、実施年月日及び指導内容) 実施年月日： 指導内容：												

(「○」…実施、「夜」…夜間想定訓練)

14 職員の資質向上等人材育成の状況

(1) 職員会議等の開催状況

会議名	開催日	記録の有無	参加者
職員会議	不定期	○・無	訓練配置以外の全職員
支援会議	毎週水曜日	○・無	訓練配置以外の支援員・看護師
経営戦略会議	第2水曜日	○・無	本部職員、所長

(2) 職員研修の状況

令和 6 年度 研修実績

	主催	研修名	実施年月日	参加者
法人内部	研修委員会	障害者の虐待防止の理解と対応	4 月	職員全員
		高次脳機能障害について	5 月	職員全員
		当施設の身体拘束の適正化と虐待防止について	7 月	職員全員
		スタンダードブリーチン	8 月	職員全員
		当施設の身体拘束の適正化と虐待防止について	9 月	職員全員
		感染対策研修会 (障害者支援施設等感染対策向上加算に対する研修)	9 月	職員全員
		日常的感染対策	10 月	職員全員
		リスクマネジメントについて	11 月	職員全員
		怒りやストレスのコントロール術	1 月	職員全員
		虐待防止の研修	2 月	職員全員
		当施設の非常災害時の BCP について	3 月	職員全員
		救命救急講習	6 月 12 日	佐竹・梅津
外部研修	全国障害者自立訓練事業所協議会	中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会・研修会	10 月 24～25 日	西片・吉井
		全国障害者自立訓練事業所協議会総会・研究集会	11 月 28～30 日	西片
	新潟県社会福祉協議会	福祉職の為のトラブル対応研修	6 月 12 日	加藤
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース	8 月 7～8 日	川辺
		コーチング研修	9 月 30 日	永井
		会議ファシリテーション研修	11 月 27 日	永井
		ストレスマネジメント研修	12 月 13 日	佐久間・鈴木
	JC-NET	発達障害就労支援セミナー in にいがた 2024	7 月 6～7 日	吉井
	日本褥瘡学会	在宅褥瘡セミナー新潟県	6 月 2 日	佐久間
	障害者就業・生活支援センターらいふあつぷ	第 1 回就労移行支援事業所連絡会議	8 月 2 日	佐竹
		第 2 回就労移行支援事業所連絡会議	12 月 12 日	佐竹

新潟県障害者リハビリテーションセンター

	国際福祉機器展	福祉機器の利活用ステップアップ 講座総論	10 月 2 日	川辺
	日本交通心理学会・ 障害と自動車運転 に関する研究会	地域ワークショップ in 新潟	10 月 12 日	吉井
	新潟市保健所	結核・感染症研修会	11 月 20 日	佐久間
	新潟市	新潟市障がい者虐待防止 マネージャー研修会	1 月 14 日	西片